「「「

昨年度好評だった風洞装置を使用した強風体験コーナーなど、子どもから大人まで体験を通じて建築に触れることができる１０の「常設コーナー」や「住まいがわかるセミナー」など、どなたでも体験できる内容のほか、コンクリート小物づくりなどが体験できる「体験コーナー（定員制）」や「実験施設見学ツアー」など、ゆっくり楽しみたい方向けの内容もご用意しています。
また、スタンプラリーやクイズラリーに参加していただいた方には、プレゼントもご用意していますので、興味のある方はぜひご来場ください。

日時：平成２１年１０月２５日（日）　９：００～１７：００
場所：北方建築総合研究所（旭川市緑が丘東１条３丁目１－２０）
入場料：無料（事前申込み不要。２０名以上の団体のみ要問合せ）

※※※

第１部研究成果報告会では、当研究所がこれまで研究し普及を続けてきた「北方型住宅」に密接に関わっており、北海道の住宅に必要な要素技術である「ユニバーサルデザイン」「換気」「音」「温熱環境性能」「積雪」の５分野について、過去の研究成果から今後の展開まで、研究職員の思いを織り交ぜながらの発表となりました。

第２部シンポジウムでは、巽　和夫氏（京都大学名誉教授）より「持続可能型社会をめざすハウジング」と題してご講演いただき、超長期住宅先導的モデル事業をはじめ、国内の先進的な取組事例など、参考となる話題を数多くご提供いただきました。

基調講演後に行われたパネルディスカッションでは、北海道を拠点として活躍している五十嵐　淳氏（五十嵐淳建築設計）、武部　豊樹氏（武部建設株式会社）、鈴木　大隆（北方建築総合研究所）３名のパネリストを迎え、「建築家」「技術者」「研究者」それぞれの視点から提言をいただき、瀬戸口　剛氏（北海道大学大学院工学研究科准教授）のコーディネートのもと、「これからの北海道の住宅のあり方」について議論していただきました。発言の一つ一つに各パネリストの個性が光っており、様々な議論の中で、今後の住宅を考える上でみんなが考えていかなければならない「もの」が見えてきた気がしました。方向性を決定する場ではなく、技術者もユーザーも、それぞれが考えていく「きっかけ」となり、何かを掴み取っていただけたら…と思っています。

北総研からのお知らせ

■【住宅用トータルエネルギー予測プログラム配布に関するお願い】

当研究所ホームページにおいて公開している「住宅用トータルエネルギー予測プログラム」ですが、おかげさまで非常に多くの方にユーザー登録していただき、ご利用いただいています。

利用にあたって多く寄せられているご質問をＱ＆Ａのページで紹介していますが、「登録したが、ダウンロード用のメールが届かない。」といったお問い合わせが多くなっています。

ダウンロード用メールはコンピュータによる自動返信ではありませんので、登録していただいた後、すぐに届かない場合があります（特に土日祝の場合）。ただし、１週間経っても届かない場合は、
・登録していただいたメールアドレスに誤りがある
・研究所から送信したメールが受信側で迷惑メールとして判断されている
などの問題が考えられます。届かない場合は、ホームページから再登録せず、電話かメールにてお問い合わせください。

▽お問い合わせ先▽
企画指導室指導支援科
電話　０１６６－６６－４２１８
メール　info@hri.pref.hokkaido.jp

住宅用トータルエネルギー予測プログラムのページ
http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/software-energy.html

※※※

よろしくお願いいたします。

（H）

＝＝＝